

平成27年3月31日
京阪電気鉄道株式会社
株式会社京都センチュリーホテル
京都タワー株式会社

京都センチュリーホテルと京都第2タワーホテルの一体的再開発第1弾 京阪グループ「京都駅前新ホテルプロジェクト」がいよいよ始動

～京都センチュリーホテルの客室全面リニューアルを実施します～

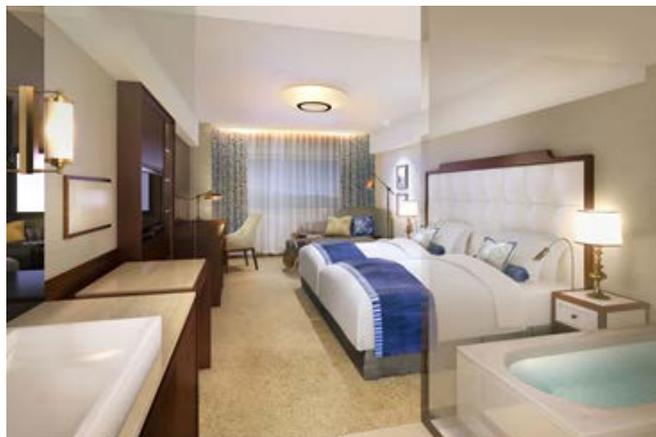
- 京阪グループが提案するライフスタイル「BIO-Style」を取り入れたリニューアルを実施
- 客室は京都らしい美しさや安らぎを感じていただく「Nostalgic Modern (ノスタルジックモダン)」をイメージワードにデザイン
- プレミアムルーム（仮称）として和テイストの客室12室を新設

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：加藤好文）、株式会社京都センチュリーホテル（本社：京都市下京区、社長：稲地利彦）、京都タワー株式会社（本社：京都市下京区、社長：小川雅人）では、京阪グループ中期経営計画「創生果敢」（2015～2017年度）における主軸戦略のひとつである『「観光創造」で新たな成長』の取り組みの一環として、京都駅前にある「京都センチュリーホテル」および「京都第2タワーホテル」の一体的再開発により、グローバルマーケットに対応する京阪グループのフラッグシップホテルの開業を目指す「京都駅前新ホテルプロジェクト」を推進しています。

このたび、その第1弾として京都センチュリーホテルの客室全面リニューアルを実施します。リニューアルコンセプトを『「BIO-Style」を意識したリノベーション』とし、健康的で美しくクオリティの高い生活の実現と循環型社会に寄与するライフスタイルである「BIO-Style」の考え方を導入し、「心にも体にも、そして環境にも優しいホテル」をめざします。

なお、今後につきましては、平成28年1月に閉館予定の隣接する京都第2タワーホテルの跡地に、ハイグレードの新ホテルを建設し、京都センチュリーホテルと低層部で接続した一体的施設として、平成30年春のグランドオープンをめざしてまいります。

京都センチュリーホテルの客室全面リニューアルの詳細は別紙のとおりです。



グランコンフォートフロア デラックスツインルーム（イメージ）

(別紙)

1. 改装コンセプト

「BI0-Style」を意識したリノベーション

～心にも体にも、そして環境にも優しいホテルを目指して～

健康的で美しくクオリティの高い生活の実現と循環型社会に寄与するライフスタイルである「BI0-Style」の考え方を導入し、「心にも体にも、そして環境にも優しいホテル」をめざします。

日本では古来、自然環境と共生した持続可能な生活を営んできました。そこから生み出された文化・伝統はここ京都に今も受け継がれています。京都センチュリーホテルは、その先人の叡智を再認識し、新しいカタチにデザインして次の世紀に繋いでいきます。

京都センチュリーホテルは、古都京都から世界に向けて「BI0-Style」を提案していきます。具体的には、健康と環境に配慮した自然素材を客室に取り入れ、オーガニック食材による料理をレストランで提供し、ホテル全館でゴミの排出を減らすなど環境への取り組みを推進します。

2. 客室デザイン

京都ステーションホテル時代から87年の歴史と伝統を誇る京都センチュリーホテル。その「古き良きホテル」の特性を生かし、ホテルでの優雅さや豊かさ、日本の郷愁としての京都での美しさや安らぎを感じていただく客室内装として「Nostalgic Modern (ノスタルジック モダン)」をイメージワードにデザインします。

「Nostalgic Modern (ノスタルジック モダン)」のイメージ



京都ステーションホテル外観



京都ステーションホテル内観



現在のメインダイニング



現在の2階アトリウム

